



大藪貴子CGCASOとコスタ・サルウコスCFOの対談

タケダの存在意義を果たすためのサステナビリティへの取り組みは、私たちの事業活動の一部です。チーフ グローバルコーポレート アフェアーズ&サステナビリティ オフィサー（CGCASO）の大藪貴子とチーフ ファイナンシャルオフィサー（CFO）のコスタ・サルウコスに、タケダの取り組みについて聞きました。

Q:タケダの企業理念は事業戦略、資本配分、日々の事業活動にどのように反映されていますか??

大藪: 企業の存在意義（パーパス）とは、社会の課題に対して有益な解決策を生み出すことです。タケダにとってのサステナビリティとは、私たちの存在意義である「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」をいかに日々の活動の中で体現していくかを意味します。私たちは革新的な医薬品を創出するために、ともに働く仲間、いのちを育む地球、そしてこれまで以上に患者さんのために何ができるかを日々追求しています。

サルウコス: 私たちの企業理念は、成長戦略を立案し、資源を投入する分野や手法などについてビジネス上の意思決定を行う際の羅針盤のような存在であり、その中核には常に患者さんが存在しています。2021年度は、自社研究所と外部とのパートナーシップの両方を通じた革新的な医薬品の研究開発を促進するため、研究開発投資を15%増額しました。また、新製品を上市するための投資も特に新興国で増やしています。

Q:タケダの価値創出について、各ステークホルダーの属性に合わせて異なるアプローチをとっているのでしょうか?

サルウコス: 患者さん、そしてステークホルダーのために創り出す価値は、本質的に結びついています。例えば、患者さんの健康に貢献する革新的な治療法を提供するとき、保険者には医療費削減という価値が、投資家には財務収益という価値が、そして従業員には競争力のある給与や健康、キャリア構築のための投資という価値がもたらされるのです。

大藪: 私たちは革新的な医薬品の創出という事業の本分を全うすることで、社会への価値創造を実現し、事業を取り巻くすべての人々、地球への約束を果たします。私たちの事業活動は患者さんの生活により良い変化をもたらし、ひいては社会をより豊かにすると考えています。つまり私たちは、患者さんの治療成果を中心としたエコシステムの一員として相互に深くつながっているのです。

Q:価値創出の取り組みに対する投資家の反応はいかがですか?

サルウコス: 投資家の方々は、当社の長期的な成功が革新的な医薬品の上市という社会的価値の提供に基づくことを理解し、一夜にして実現できるものではないとの認識も広がっています。一方で、人的資本の管理や取締役会の多様性、透明性ある開示方針など非財務的な業績がより着目され、投資判断の材料にする傾向がみられます。

大藪: 私たちの企業理念は、時代の潮流や社会からの期待に応える内容であると評価していただいています。タケダは多くの国や地域で事業を展開しているため、取り組むべき優先事項は共通でも、方法は地域によって異なる可能性があります。事業を進めていく上では測定可能な一定の指標の導入により、適切な進捗管理が可能となります。私たちの取り組みを確実に前進させるためにも一律の評価指標を開発し、試験運用を実施しています。また、その開示プロセスやデータを保証するための取り組みにも着手しています。私たちの事業の状況やステークホルダーの皆さまにとって意義ある指標とし、財務指標と同様に日々の事業活動の一部として組み込むべく、慎重に検証を進めています。